

# 一般財団法人 先端加工機械技術振興協会

## 2022年度事業報告書(案)

2022年4月01日から2023年3月31日まで

諸事業を一層充実する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐための各種施策や活動自粛にもかかわらず、収束の見通しが立たなかったため、当協会の諸事業も前年度と同様に少し縮小せざるを得なかった。

### I 先端加工機械技術に関する研究助成

本年度は助成申請件数が12件であった。8月下旬から各審査委員による事前の書面審査を行っていただき、9月下旬に事前審査結果を基に全審査委員がリモートで意見交換を行い、厳正かつ慎重な審議を行った結果、下記の8件が本年度の助成対象の候補と決まった。10月上旬に理事長の承認を得て正式決定し、11月に研究助成金（8件総額560万円）を申請者の所属機関に送付した。

- ① 「鍛造軸まわり方向のすべり・ねじり付加による異材鍛造接合性の向上」  
・松本 良氏（大阪大学 准教授）（70万円）
- ② 「低出力近赤外レーザ光の斜角高速照射による微細溝形成手法の開発」  
・岡本 康寛氏（岡山大学 准教授）（70万円）
- ③ 「電磁流体力学の作用を応用した高融点金属ナノ微細構造形成の研究」  
・西村 高志氏（鈴鹿工業高専 准教授）（70万円）
- ④ 「鉄系材料加工を可能とする新規ダイヤモンドドライクカーボンコーティングの開発」  
・中澤 日出樹氏（弘前大学 教授）（70万円）
- ⑤ 「レーザー誘起微粒子射出法による材料表面の高硬度化と高靱化」  
・米津 明生氏（中央大学 教授）（70万円）
- ⑥ 「摩擦肉盛法とワイヤ+アーク放電による付加加工技術のハイブリッド金属造形技術によるアルミニウム合金と鉄鋼材の異種金属積層法の開発」  
・永松 秀朗氏（電気通信大学 助教）（70万円）
- ⑦ 「粒間段差・スクラッチフリーの超平滑YAGセラミックス表面の創製」  
・藤 大雪氏（大阪大学 助教）（70万円）
- ⑧ 「化学研磨の応用による遷移金属酸化物薄膜の物性加工技術構築」  
・大坂 藍氏（大阪大学 特任助教）（70万円）

### II 先端加工機械技術の動向に関する調査研究

今後の我が国のものづくり産業の基盤となる先端加工機械技術の動向調査を実施するとともに、加工関連の企業（主に中小規模企業）・団体（地方公設機関等）・個人を活性化・強力化することを目指して平成27（2015）年に設置した「先端加工研究会」は、企業14社、個人5名となった。コロナ禍拡大防止のため、しばらく活動を休止していた

が、本年度から企業側の意向を反映しやすい体制で企画を行い、以下の活動を行った。

7月15日（金）午後：東京都品川区の（株）伸光製作所を訪問し、社長による講演の後、工場見学を行った。

10月4日（火）および7日（金）午後：AI基礎技術セミナー（講師：森和男理事）をオンライン形式で実施した。

10月14日（金）：諏訪圏工業メッセに併せて、長野県茅野市の太陽工業株式会社を訪問し、役員他による講演の後、工場見学および技術交流会を実施した。

11月11日（金）から6週にわたる毎金曜日の午後：AI基礎技術セミナー第2弾（講師：森和男理事）をオンライン形式で実施した。

また、メール等を活用して関連分野の表彰制度や各種補助金公募に関する情報提供や相談など、会員間の情報交換は活発に行った。

### Ⅲ 研究成果等の普及

#### （1）機関誌の発行

最新技術の紹介、研究助成の成果、「元気なものづくり中小企業」訪問記等を掲載する機関誌「先端加工技術」を例年通り3回発行し、各方面に配布した。

第117号：2022年6月「複合化が進む工作機械の現状と動向」

巻頭言、技術紹介5件

第118号：2022年12月「農業のスマート化に貢献するものづくり技術」

巻頭言、技術紹介4件、令和2年度研究助成成果報告4件

第119号：2023年2月「進むトポロジー最適化活用設計」

巻頭言、技術紹介4件

#### （2）先端加工技術講演会の開催

例年通り2月頃に開催の計画であったが、コロナ禍未収束のため開催を断念した。

### Ⅳ その他

加工技術に関連する各種団体等が主催する行事に協賛するとともに、各種委員会に委員として参加し、加工技術の発展と普及に努めた。

### Ⅴ 管理運営について

#### 1. 理事会

##### （1）第20回理事会

2022年6月8日（水）、書面審議により提出議案の審議並びに報告を行った。

- ・令和3（2021）年度事業報告及び決算
- ・公益目的支出計画実施報告書等
- ・第10回定時評議員会の開催
- ・令和2年度研究助成の成果報告
- ・職務執行状況報告
- ・評議員の候補者選任

- ・理事・監事の候補者選任
- ・研究助成審査員の委嘱
- ・機関誌編集委員の委嘱

(2) 第21回理事会

2022年6月22日(水)、書面審議により代表理事の重任が決定された。

(3) 第22回理事会

2023年3月14日(火)、書面審議により下記の提出議案を審議していただいた。

- ・令和4(2022)年度事業報告および決算見込(中間報告)
- ・令和5(2023)年度事業計画および収支予算案
- ・職務執行状況報告

2. 評議員会

(1) 第10回評議員会

2022年6月22日(水)、書面審議により下記提出議案を審議していただいた。

- ・令和3(2021)年度事業報告及び決算
- ・公益目的支出計画実施報告書等
- ・令和2年度研究助成の成果報告
- ・評議員の選任
- ・理事・監事の選任

3. 委員会

(1) 研究助成審査委員会

2022年度の研究助成対象者を選考するための研究助成審査委員会(6名で構成)は、8月下旬からの事前書面審査の結果を基に9月下旬にメールで意見交換して、8件助成について全員合意を得ることができた。

(2) 機関誌編集委員会

コロナ禍拡大防止のために、編集委員4名と事務局2名で、編集委員会を下記の通り3回(うち2回はオンライン)開催した。本年度も経費節減のため、自主的編集作業を行った。

- ・第1回編集委員会：2022年6月(オンライン)
- ・第2回編集委員会：2022年7月～8月(オンライン)
- ・第3回編集委員会：2023年2月17日

4. その他

1. 2022年6月24日(金)付で、内閣府に公益目的支出計画実施報告書等を提出した。
2. 賛助会員：2023年3月31日現在の会員数は2社(3口)である。

3. リース切れで使用していたパソコンと複合機、電話交換機、電話器を更新した。

以上

内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない。